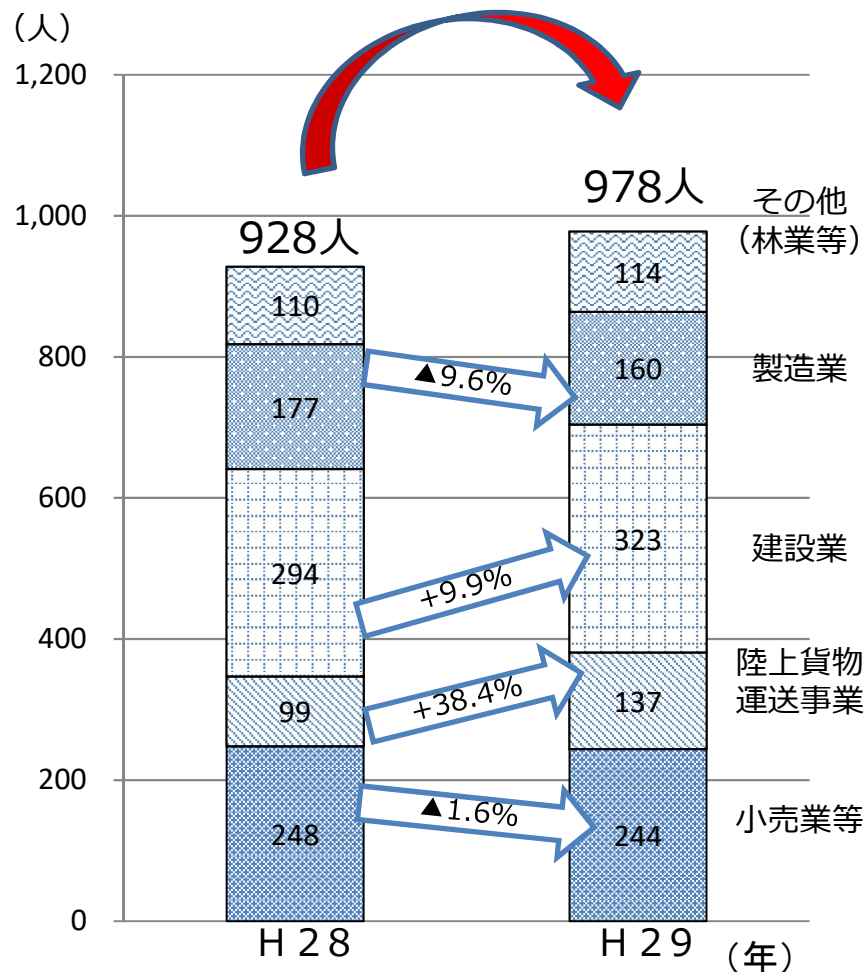


平成29年 労働災害発生状況 (確定値)

資料No. 2

死亡災害

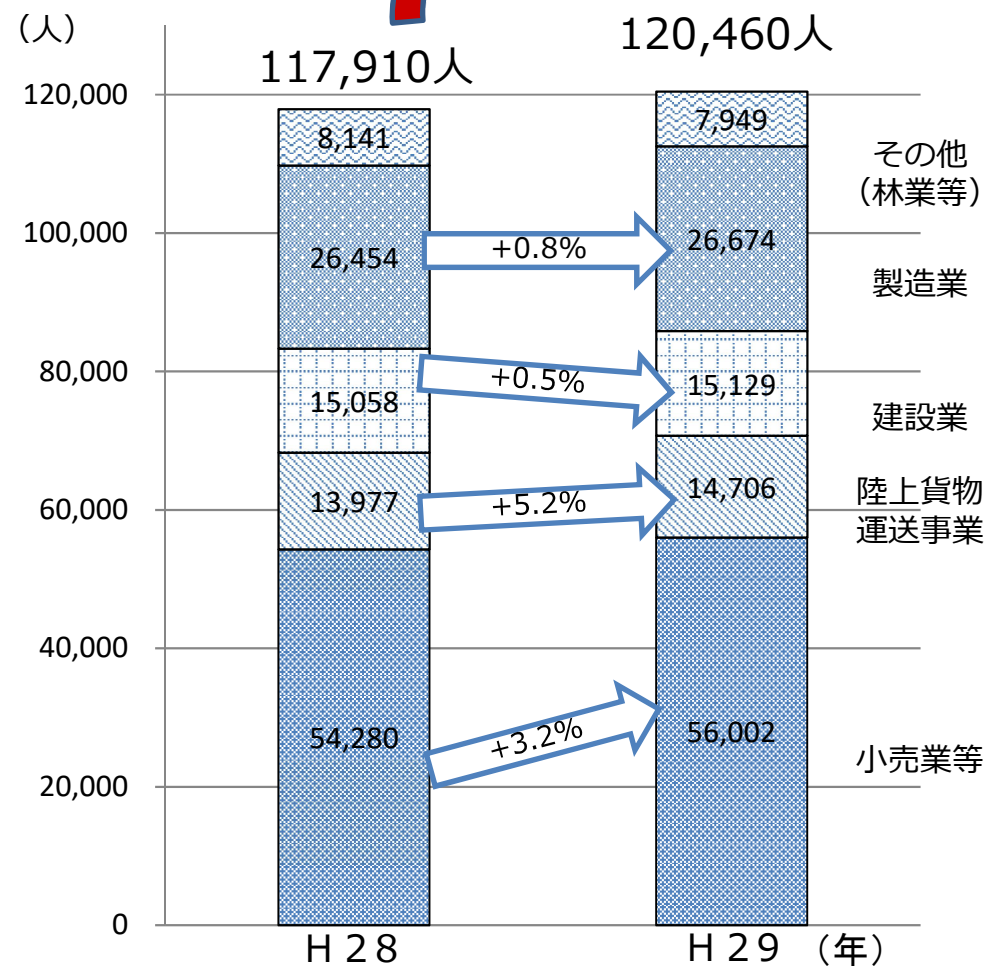
+50人(+5.4%)



出典：死亡災害報告

休業4日以上之死傷災害

+2,550人(+2.2%)

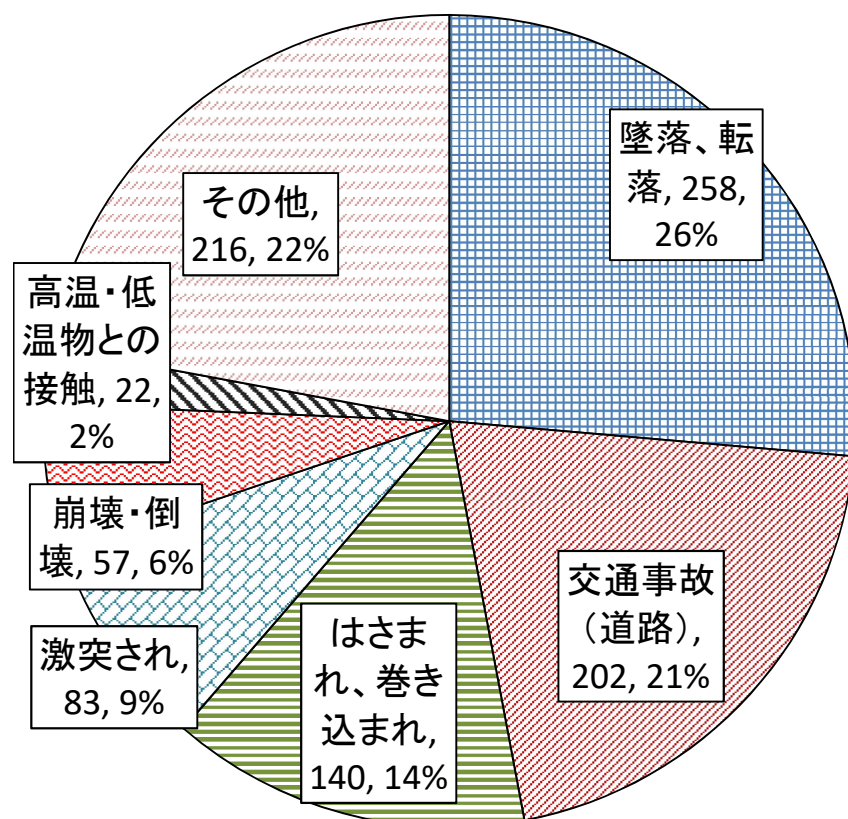


出典：労働者死傷病報告

平成29年事故の型別労働災害発生状況(確定値)

死亡災害

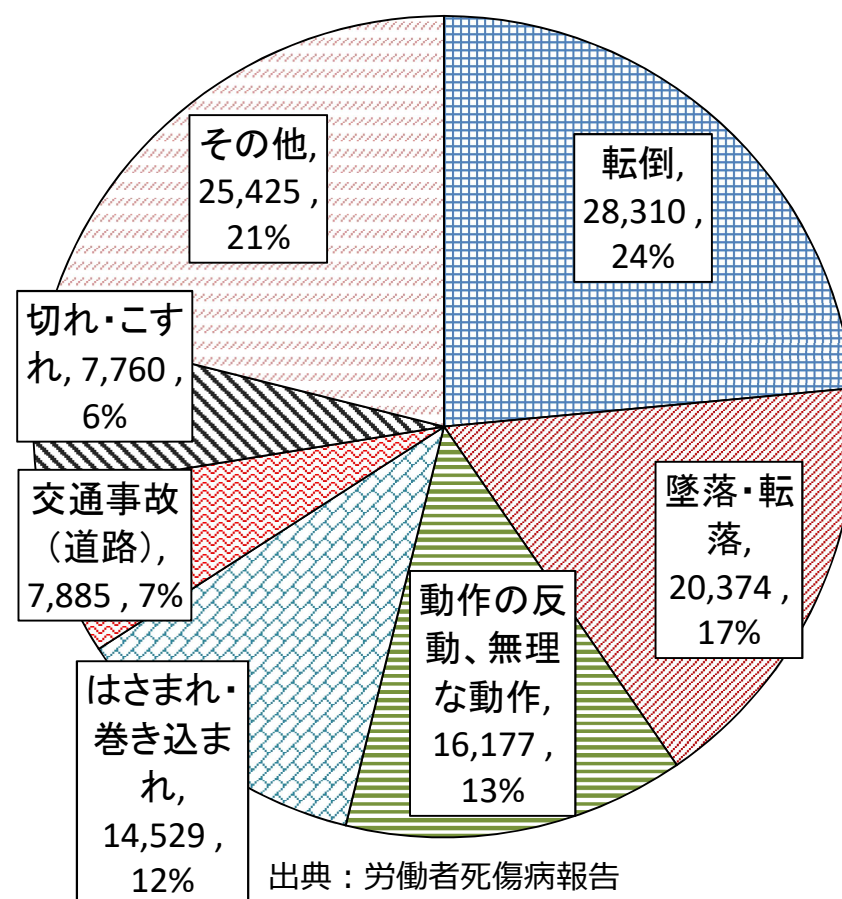
978人、前年同期比+5.4%



出典：死亡災害報告

休業4日以上の死傷災害

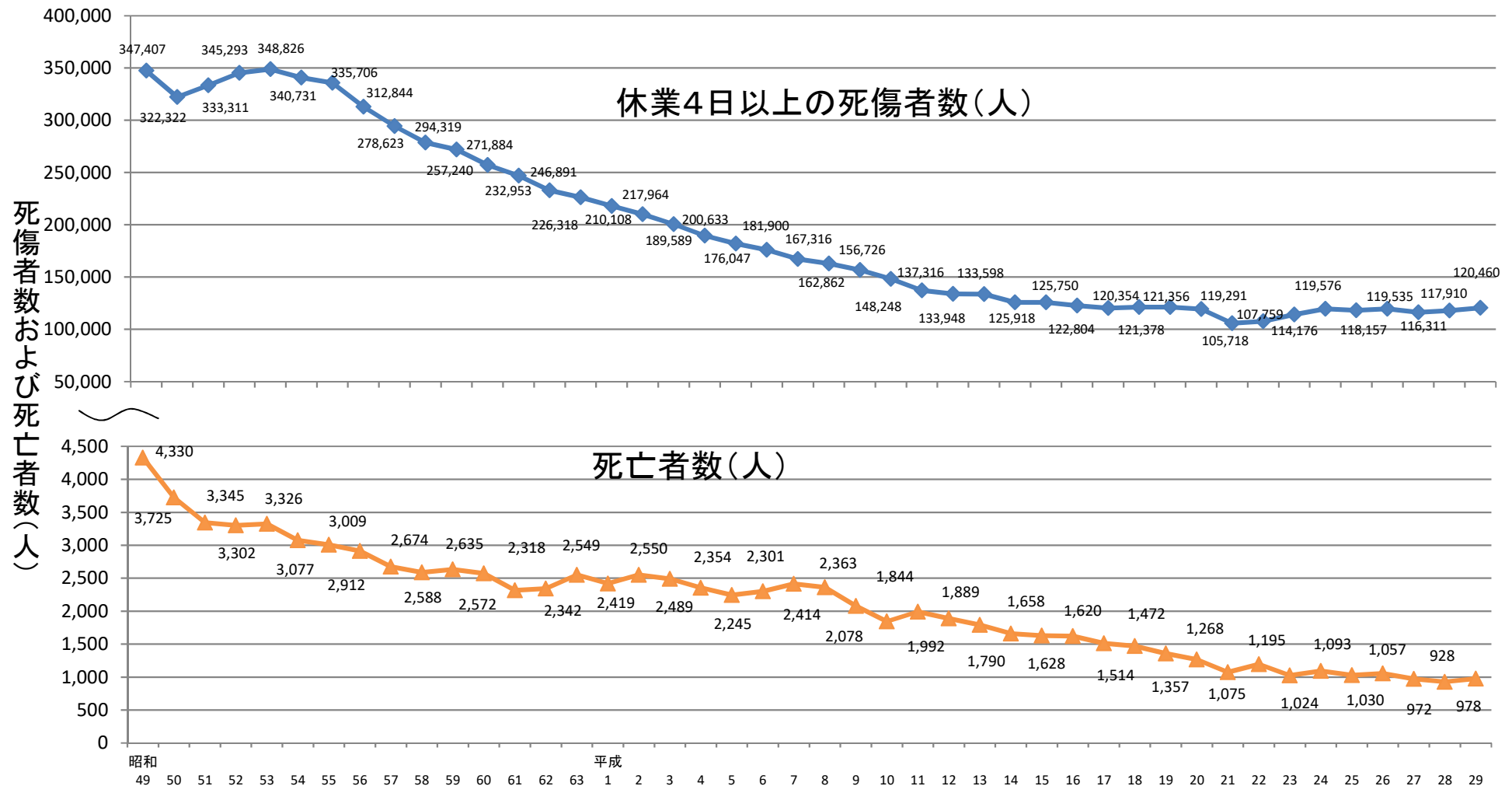
120,460人、前年同期比+2.2%



出典：労働者死傷病報告

労働災害発生状況の推移

- ・ 死亡者数は、長期的には減少傾向にあるが、3年ぶりに増加した。
- ・ 休業4日以上の死傷者数は、陸上貨物運送事業や第三次産業で増加するなどして、2年連続で増加した。



出典：平成23年までは、労災保険給付データ(労災非適用事業を含む)、労働者死傷病報告、死亡災害報告より作成
平成24年からは、労働者死傷病報告、死亡災害報告より作成

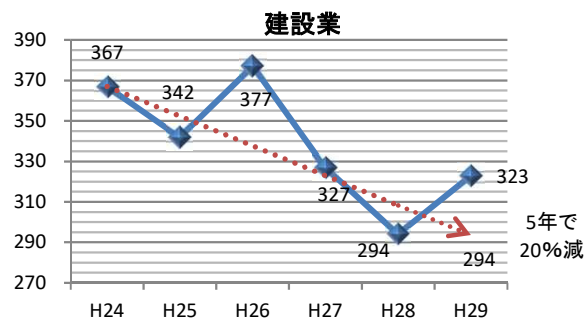
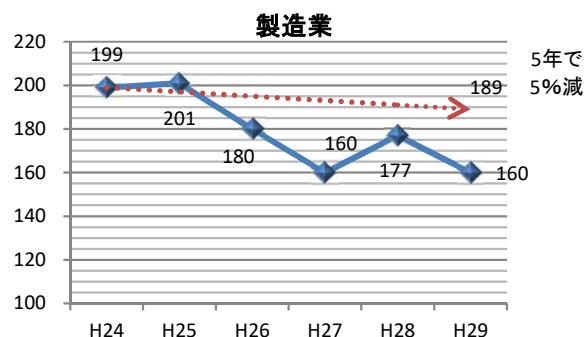
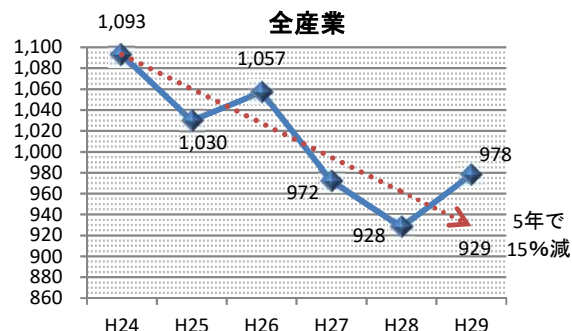
第12次労働災害防止計画に関する状況(平成29年確定値比較)

【目標】○ 平成29年までに、労働災害による**死亡者数を15%以上減少**させる(平成24年比)

○ 平成29年までに、労働災害による**死傷者数(休業4日以上)を15%以上減少**させる(平成24年比)

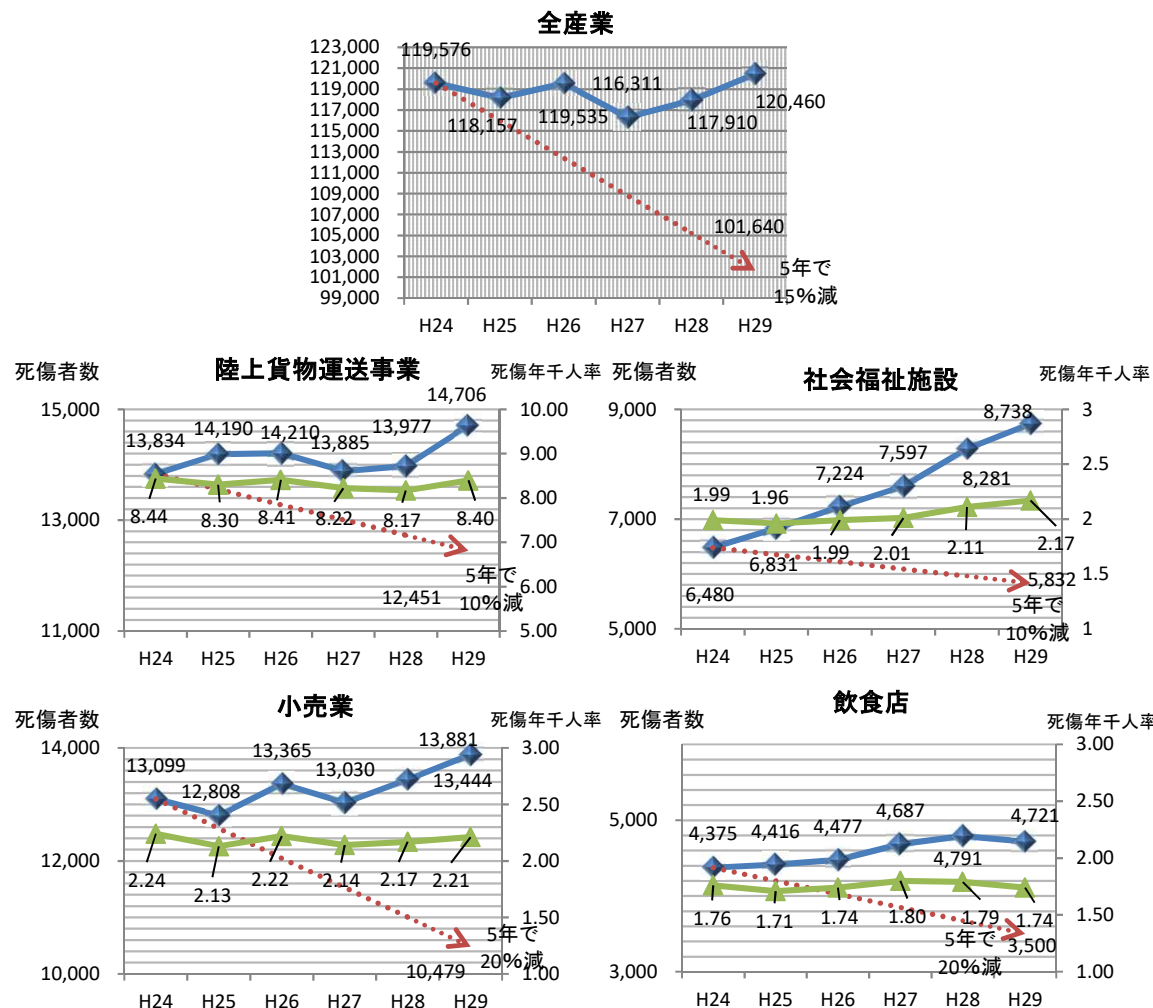
死亡災害

- 平成24年よりも10.5%減少
- 製造業は同19.6%減少
- 建設業は同12.0%減少



休業4日以上の死傷災害

- 平成24年よりも0.7%増加
- 陸上貨物運送事業は同6.3%増加、小売業は同6.0%増加
- 社会福祉施設は同34.8%増加、飲食店は同7.9%増加



平成29年一人親方等の死亡災害発生状況概要

(参考)

一人親方とは、労働者を使用しないで土木、建築その他の工作物の建設、改造、保存、原状回復、修理、変更、破壊もしくは、解体またはその準備の事業（大工、左官、とび職人など）等の事業を行うことを常態とする方であり、一人親方等とは、これに加えて中小事業主、役員、家族従事者を含みます。

このため、一人親方等は労働者ではありませんので、労働災害統計の「死亡災害発生状況」には含まれません。

1. 工事の種類別

	一人親方等	
		一人親方
土木工事	12 (11)	4 (4)
建築工事	63 (53)	38 (34)
鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事	18 (9)	9 (7)
木造家屋建築工事	22 (25)	17 (18)
その他の建築工事	23 (19)	12 (9)
その他の建設工事	23 (9)	9 (6)
分類不能・不明	5 (2)	0 (2)
総計	103 (75)	51 (46)

2. 事故の型別災害発生状況

	一人親方等	
		一人親方
墜落、転落	61 (44)	34 (27)
はさまれ、巻き込まれ	10 (5)	4 (5)
転倒	5 (3)	1 (1)
飛来、落下	5 (2)	2 (1)
感電	3 (3)	1 (2)
激突され	2 (3)	0 (2)
崩壊、倒壊	2 (2)	1 (0)
有害物等との接触	2 (2)	1 (0)
交通事故(道路)	1 (4)	0 (3)
おぼれ	1 (1)	1 (1)
高温・低温の物との接触	1 (0)	1 (0)
切れ、こすれ	1 (0)	0 (0)
踏み抜き	0 (1)	0 (0)
その他	9 (5)	5 (4)
合計	103 (75)	51 (46)

3. 墜落、転落災害に係る起因物別災害発生状況

	一人親方等	
		一人親方
屋根、はり、もや、けた、合掌	19 (12)	12 (8)
はしご等	17 (8)	9 (4)
足場	13 (9)	9 (7)
建築物、構築物等	6 (10)	2 (7)
建設機械等	2 (5)	0 (1)
開口部	2 (0)	1 (0)
移動式クレーン	1 (0)	1 (0)
作業床、あゆみ板	1 (0)	0 (0)
合計	61 (44)	34 (27)

* 厚生労働省調べ

* 「一人親方等」の「等」は、中小事業主(47名)、役員(3名)、家族従事者(2名)である。

* ()内は平成28年数値